

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 3月31日
- 定時株主総会 3月31日
- 期末配当 3月31日
- 中間配当 9月30日(行う場合)
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 電子公告掲載ホームページアドレス <http://www.keihan.co.jp/koukoku/>
- 株主名簿管理人 中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(フリーダイヤル) 0120-78-2031
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

ご案内

特別口座が開設された株主様へのご案内

平成21年1月5日の株券電子化実施に伴い、電子化までに株券を証券保管振替機構(ほふり)に預けられていない株主様の株式や、登録単元未満株式については、当社の開設した「特別口座」にて管理されております。

■特別口座の株式は売却できますか?

特別口座では、株式の売買等はできません。売買等を行うには、証券会社に口座を開設したうえで、株式の振替手続きをさせていただく必要があります。振替手続きには一定の日数を要しますので、お早めにお手続きをされることをおすすめします。(振替手続きには株券は不要です。)

■単元未満株式が特別口座に残ったままののですか?

単元未満株式(1,000株未満の株式)についても、証券会社の口座に振替が可能です。特に、既に証券会社に口座を開設されている株主様は、資産管理を簡略化するため、口座振替のお手続きをされることをおすすめします。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務付けられました。配当金領収書にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご確認ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際、その添付資料としてご使用いただくことができます。

株式に関するお問い合わせ (中央三井信託銀行 証券代行部)
(フリーダイヤル)0120-78-2031(銀行営業日の9:00~17:00)

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申し出については、株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、特別口座が開設された株主様は、特別口座管理機関である中央三井信託銀行にお申し出ください。

株主優待のご案内

株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚数
1,000株以上 20,000株未満	当社線全線通用乗車券	1,000株につき3枚
20,000株以上 34,000株未満		60枚
34,000株以上 48,000株未満	当社線全線通用乗車証 (定期券型式)	1枚
48,000株以上 100,000株未満		1枚
100,000株以上 300,000株未満	当社線全線・京阪バス線 通用乗車証 (定期券型式)	2枚
300,000株以上 500,000株未満		3枚
500,000株以上 1,000,000株未満		5枚
1,000,000株以上		10枚

- 1.乗車券は1回のご乗車につき1枚必要です(京阪線と大津線・鋼索線とを乗り継ぎされる場合にはそれぞれ1枚必要です)。
- 2.乗車証は記名ご本人以外の方(持参人1名)もご使用いただけます。
- 3.当社線全線・京阪バス線通用の乗車証では、京阪バス線の定期観光路線、高速線、空港線、自治体運行主体のコミュニティバス路線にはご乗車になれません。
なお、一般路線につきましても、路線再編等によりご利用区間が変更される場合があります。
- 4.乗車券・乗車証では京都市地下鉄線(三条京阪・御陵間を含む)にはご乗車になれません。
- 5.災害等による当社線不通の際、他社線への振替輸送の取扱いはいたしません。

ひらかたパークご招待

ひらかたパーク株主ご招待入園引換券 2枚 (ご招待用乗車券 4枚付) を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。

その他の特典

上記の優待制度に加えて、京阪グループ施設で優待割引券(京阪百貨店のお買物割引券、グループホテルの宿泊割引券など)を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。 ※割引券の内容・ご利用範囲につきましては、券面をご確認ください。

送付時期(年2回)および有効期間

対象	送付時期	乗車証の有効期間	乗車券・ひらかたパークご招待券 その他の優待券の有効期間
3月31日現在の株主様	6月下旬	7月11日~1月10日	6月下旬~1月10日
9月30日現在の株主様	12月上旬	1月11日~7月10日	12月上旬~7月10日

京阪電気鉄道株式会社

〒540-6591
大阪市中央区大手前1丁目7番31号
株式担当 TEL(06)6944-2521
広報担当 TEL(06)6945-4585
ホームページアドレス
<http://www.keihan.co.jp/>



第87期
株主通信

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



ビジョンに向かって ATTACK!

第87期株主通信をお届けするにあたり、株主のみなさまの平素からのご厚情に、心から御礼申し上げます。

当期純利益は74億円を計上

当期の京阪グループは、昨年9月以降、世界規模の景気悪化という厳しい経営環境のもと、各事業にわたり積極的な営業活動を行い、業績の向上に努めてまいりました。この結果、連結では営業収益は2,607億6千6百万円、経常利益は109億6千7百万円、当期純利益は74億1百万円となりました。一方、当社単体におきましては、営業収益は769億2千6百万円、経常利益は95億6千2百万円、当期純利益は50億8千9百万円となりました。

また、当期の期末配当は1株につき2.5円とし、中間配当とあわせた年間配当は1株につき5円とさせていただきます。今後も継続して年5円以上の配当を実施できますよう、引き続き経営努力を重ねてまいります。

「Jump21」総括

～経営の品格を向上させ、成長ステージへ～

平成18年度から平成20年度においては、「経営の品格を向上させ、早期に成長ステージに立つ」ことをめざす、「成長のための収益力強化3カ年計画 Jump21」を推進してまいりました。すなわち、京阪グループを取り巻くステークホルダーに対し社会的責任を果たしていくとともに、「大きくて良い会社」となるために、重点事業において成長の布石を打つことを目標としたものです。具体的には、経

代表取締役社長
COO
執行役員社長

上田 成之助



営品格の向上については、「スピード経営」「コンプライアンス経営」「ブランド経営」「環境経営」の4つをキーワードとし、内部統制制度の構築やCSR委員会の設置、シンボルマークの制定をはじめとするブランドコンセプトの策定・推進等に取り組んでまいりました。

また、昨年10月には中之島線が開業し、事業エリアが拡大いたしました。中之島線は、「関西財界セミナー賞 2009大賞」をはじめ数々の賞をいただき、関西経済発展の起爆剤として大きな期待をいただいておりますが、引き続きイベントへの参画や、中之島4丁目における高層マンションの分譲、「京阪・大林 中之島共同開発」の推進等により、さらなる中之島エリアの活性化と魅力向上、中之島線の需要創造に努めてまいります。

不動産賃貸業については、今後の収益の柱に育てることにより、事業規模・事業エリアの拡大、ブランド力の向上を図る方針としておりますが、昨年9月の「ORIX堂島ビル(京阪堂島ビルに改称)」に続き、本年3月には首都圏進出第1弾となる「大手町北東急ビル(6月中旬に京阪大手町ビルに改称予定)」を取得いたしました。流通業では、昨年11月に吉本興業(株)の「京橋花月」を核テナントとする「KiKi京橋」を開業したほか、ホテル業では本年6月の「ホテル京阪札幌」開業に続き、今秋に「ホテル京阪浅草」の開業を予定しており、ホテル京阪チェーンの全国展開に向けて着実に準備を進めてお

ります。これら重点事業においては、今後もさらなる拡大・強化を図り、京阪グループの成長につなげてまいります。

「ATTACK 2011」

～強靱な経営基盤の構築とさらなる成長に向けて～

「Jump21」における成果や経営課題、および今般の事業環境を踏まえ、今年度から3年間の中期経営計画「ATTACK 2011」の詳細を策定し、本年3月に発表いたしました。これは、昨年5月に発表した骨子の詳細策定にあたって今般の厳しい事業環境を踏まえ、方針や数値目標等を修正したものです。内容の詳細は次ページ以降に記載しておりますが、平成21年度から平成23年度は、基幹事業の強化と事業・資産の見直しを早急に行うこと、難局に耐えうる「強靱な経営基盤を構築する」とこと、平成32年度をターゲットとする経営ビジョンに向けて「京阪グループの成長を確実に具現する」ことに主眼を置く3年間といたします。

京阪グループは、この景気後退局面においても「困難に立ち向かう“ATTACK”」の精神を持ち、「攻めの姿勢での挑戦“ATTACK”」を継続的に行うことで、成長に向けて進んでまいります。

京阪グループは、今後も引き続き、コンプライアンスの遵守、安全・安心の確保、自然環境にやさしい企業運営に取り組むこと等によって、経営の品格向上をベースにCSR経営をさらに推進してまいります。このように企業としての社会的責任を果たすとともに、地域社会やお客さま、株主のみなさまの信頼に応えながら企業価値・株主価値の最大化に努め、今まで以上に“選ばれる京阪”をめざしてまいります。

株主のみなさまには、今後もなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年6月

会社の概要 (平成21年3月31日現在)

■ 設 立	昭和24年12月1日(営業開始日) (創立:明治39年11月19日)
■ 資 本 金	51,466,416,776円
■ 発行可能株式総数	1,595,886,000株
■ 発行済株式の総数	565,913,515株
■ 株 主 数	58,443名
■ 従 業 員 数	1,704名
■ 本 社 事 務 所	大阪市中央区大手前1丁目7番31号
■ 主 要 な 事 業 内 容	①鉄道事業(鉄軌道による旅客運輸) ②不動産事業(土地建物の販売および賃貸) ③レジャー事業(遊園地などの経営)
■ 営 業 キ 口	91.1km
■ 車 両 数	764両

役 員 (平成21年6月24日付)

代 表 取 締 役 会 議 長	佐藤 茂雄	執 行 役 員	中井 保
代 表 取 締 役 社 長	上田 成之助	執 行 役 員	田中 均
代 表 取 締 役 副 社 長	櫻井 謙次	執 行 役 員	下條 弘
取 締 役 常 務 執 行 役 員	小川 雅人	執 行 役 員	向井 寛行
取 締 役 常 務 執 行 役 員	加藤 好文	執 行 役 員	永井 博
取 締 役 常 務 執 行 役 員	脇 博一	執 行 役 員	末近 義治
取 締 役	高橋 温	執 行 役 員	塩田 正
取 締 役	寺田 千代乃	執 行 役 員	木村 靖夫
常 務 執 行 役 員	西谷 徹	執 行 役 員	三浦 達也
		監 査 役(常勤)	太刀川 克己
		監 査 役(常勤)	中田 努
		監 査 役	井関 隆政
		監 査 役	家近 正直
		監 査 役	上野 至大
		監 査 役	林 恭造

表紙題字は上田成之助

「ATTACK 2011」

京阪グループでは、中期経営計画「ATTACK 2011」を策定し、3月24日(火)に発表しました。

これは、昨年5月に発表しました骨子の詳細を策定するにあたり、今般の厳しい事業環境を踏まえ、計画の一部を修正したものです。「ATTACK 2011」の概要は下記のとおりです。

難局に耐えうる「強靱な経営基盤を構築」し、いち早く「ビジョンへ向けた成長を具現」する

「ATTACK 2011」は、京阪グループ経営ビジョン「「選ばれる京阪」への挑戦」の実現に向けた第1フェーズと位置づけ、攻めの姿勢での挑戦を継続的に行う3カ年とします。

■ 全社戦略

基本戦略

基幹事業の強化

- ▶ 事業・資産の収益性と効率性を最大限まで高めます。

事業・資産の見直し

- ▶ 峻別と集中の観点から、事業・資産の見直しと再構築を行います。

成長の具現

- ▶ 各事業群の自律的な経営による競争力強化・キャッシュフローの最大化を図ります。
- ▶ 不動産賃貸・流通・ホテルに経営資源を集中します。
- ▶ 提携やM&Aによる新たな収益基盤を確立します。
- ▶ お客様の嗜好や生活スタイルの変化に迅速に対応し、お客様視点の営業力を強化します。

経営体制・CSR

- ▶ 変化の激しい経営環境をみながら、純粋持株会社体制への移行を速やかに実施します。
- ▶ 「スピード経営」「コンプライアンス経営」「ブランド経営」「環境経営」をさらに徹底し、経営の品格向上を行います。

カード戦略

京阪沿線における圧倒的な普及率をベースに、よりお客様の生活に密着したカードへ

- バス事業など、より一層、PiTaPaの普及促進に努めます。
- 京阪グループポイントサービスにより、e-kenetカードのファーストカード化、オンリーワンカード化をすすめます。



ブランド戦略

統一したブランドコンセプトのもと、京阪グループの総合力としての強みを発揮

シンボルマーク・スローガンが、安全・安心を提供することによって、信用・信頼の象徴とおお客様の期待に応えるべく、それぞれの事業が京阪ブランドの価値向上に役割を果たします。



エリア戦略

京阪エリアの価値創造・発展を最優先とし、4つの事業を組み合わせ、最適な戦略を展開します。京阪エリアの基盤を確立したうえで、選別した事業においてはエリアの拡大を図ります。

京阪エリアの魅力向上

中之島(重点エリア)

中之島線の開業を起爆剤に、官民一体となった街づくりを行うことで、エリア価値向上を牽引します。中之島4丁目においては、高層マンションの分譲のほか、複合施設開発にも着手します。



京都(重点エリア)

京都エリアに点在するグループ経営資源を互いに結びつけてシナジー効果を図るなど、京都エリアでの京阪ブランド向上をめざします。



くず(重点エリア)

「選ばれ続ける街づくり」をめざし、くずはモールII期計画など、駅周辺の魅力向上に向けた計画を策定します。

京阪エリアの拡大

【不動産】

短期回転型販売事業・賃貸事業：首都圏

【流通】

小売業：物流のネットワークメリットが活かせる関西圏中心
プロパティマネジメント事業：エリアを限定せず拡大

【ホテル】

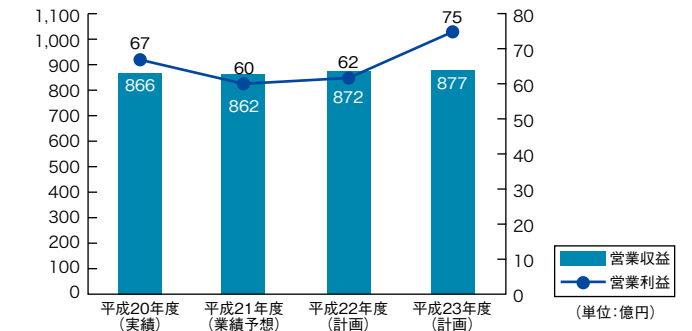
宿泊特化型ホテル：首都圏および主要政令指定都市

■ 事業戦略

運輸業

安全・安心な公共交通サービスの提供を基本に、収益の拡大と効率的な運営を追求

- 安全・安心な交通サービスを提供します。
- 鉄道・バス・タクシーの連携や、他社線との連携をより緊密にすることにより、利便性の高い交通ネットワークを構築します。
- 駅の機能の充実とサービスの拡大により、お客様の利便性向上を図るとともに、収益の向上を図ります。



「ATTACK 2011」

■事業戦略

不動産業

「賃貸事業」「短期回転型販売事業」「都市開発」の3つの事業においてバランスのとれた成長を図ることにより、**安定的収益基盤を実現**

<賃貸事業>

- 増床・リニューアル計画の推進などにより、既存施設の価値を維持・向上します。
- 優良賃貸ビルを新規取得することで事業を拡大し、ポートフォリオの適正化を図ります。

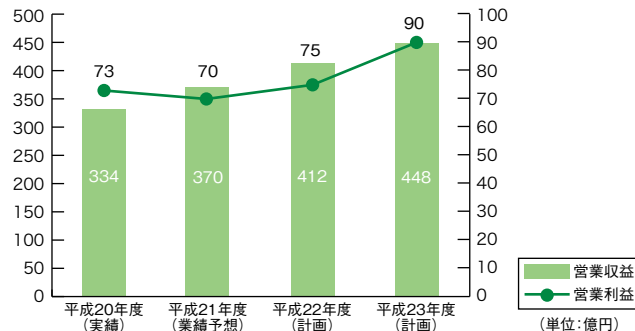
<販売事業>

- 短期回転型においては、販売促進による早期の資金回収と、次期に事業展開する用地の選別確保に努めます。
- 経営団地内への店舗立地推進等により、魅力度の向上を図ります。



<都市開発>

- 沿線主要拠点を中心に都市開発事業を推進します。



流通業

規模の拡大と高収益体質の企業集団へ

<小売業>

- 売上規模を拡大し、規模の経済性を発揮できる経営体制を構築します。
- ロス・在庫管理の徹底などにより、粗利益率を改善します。

<ショッピングセンター・商業系プロパティマネジメント事業>

- くずはモール等の既存ショッピングセンターの魅力の維持向上に努め、収益力を強化します。
- アセットマネジメント機能を含めた提案力を強化し、プロパティマネジメント事業の拡大を図ります。

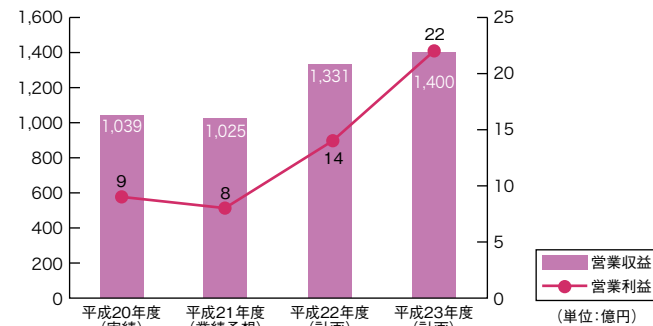


【出店計画】

- 京阪百貨店住道店 (平成22年秋)
- 都市型スーパーマーケット 3年間 計6店舗



京阪百貨店住道店(仮称)



■事業戦略

レジャー・サービス業

規模の拡大に向けた体制・基盤の整備

- 培った経営ノウハウを基礎に、首都圏・全国の主要政令指定都市において「ホテル京阪(宿泊特化型ホテル)」の店舗展開を推進します。
- ハード・ソフト両面の標準化により品質管理の徹底と効率化を進め、利益最大化を図ります。
- お客さまの期待に応え続けることで、「ホテル京阪」の知名度・認知度を高め、全国での京阪ブランドの浸透に寄与します。

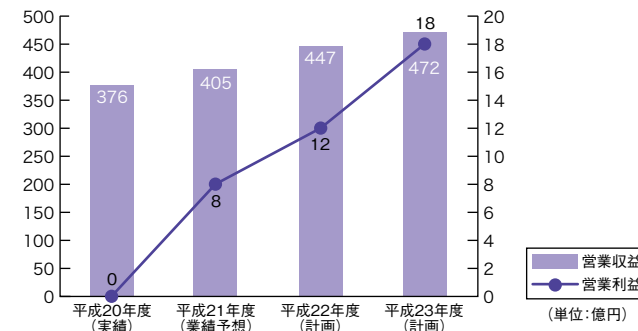
【出店計画】

- ホテル京阪札幌 (平成21年6月6日開業)
 - ホテル京阪浅草 (平成21年秋)
- 他 3年間 計5店舗



ホテル京阪浅草

ホテル京阪チェーンを10店舗3,000室体制に



■定量目標

	平成20年度実績 (2008年度)	平成23年度目標 (2011年度)
連結営業利益	146億円	207億円
連結 EBITDA	318億円	420億円
連結 ROA (総資産営業利益率)	2.6%	3.2%

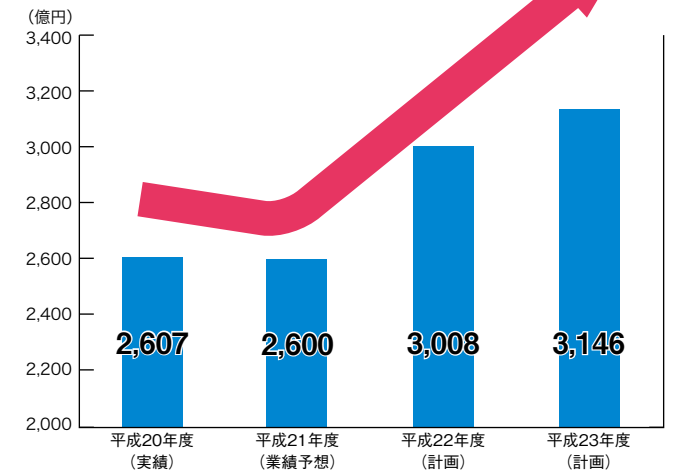
※連結 EBITDA=営業利益+減価償却費

結果としてめざす水準

	平成20年度実績 (2008年度)	平成23年度目標 (2011年度)
連結当期純利益	74億円	80億円
連結 ROE (自己資本当期純利益率)	5.7%	5.8%
連結有利子負債 / EBITDA 倍率	9.2倍	8.5倍

※連結有利子負債 / EBITDA 倍率=連結有利子負債 ÷ 連結 EBITDA

連結営業収益の見通し



淀駅付近立体交差化事業が進行中



京都市の都市計画事業として進めている京阪本線淀駅付近の立体交差化事業は、現在Ⅰ期工事として、下り線(大阪方面行き)高架化のための工事を行っており、今年9月の高架線への切り替えをめざしています。3月26日(木)夜半には駅部のプラットホーム・コンコース通路橋桁の架設を行い、下り線の高架化のための高架橋がほぼ完成しました。今後は、下り線の高架線への切り替えに向け、レールの敷設、建築、電気関連の工事を進めていきます。

下り線の高架化が完成した後は、新しい淀駅の下り線のりばの使用を開始すると同時に、2月にリニューアルされた京都競馬場の入場門「ステーションゲート」と駅の2階部分が直結される予定です。

8000系特急車両を改造します



今年度から平成23年度にかけて、8000系特急車両を順次改造します。主な改造点は、シートなどインテリアのグレードアップ、車いすスペースの設置などのバリアフリー対策、一部座席のロングシート化、つり革の設置や液晶ディスプレイの設置などです。これら一連の改造によりお客さまの乗降がスムーズになり、これまで使用を見合わせていた時間帯などでの幅広い運用が可能になります。また、テレビに関しては時代の変化によりその役目を終えたと判断し、改造工事にあわせて順次撤去を進め、平成23年度内に全廃します。

全駅・全ホームにホーム点字ブロック内方線を整備します

平成21年度内に当社線の全86駅(ケーブル線および京都市交通局管理の御陵駅を除く)、全ホーム204カ所に、ホーム点字ブロック内方線(ホーム縁端警告ブロック)を設置します。

ホーム点字ブロック内方線は、視覚障がいをお持ちの方が駅のプラットホームをご利用になる際、点字ブロックよりホーム側にいるのか、線路側にいるのかをお知らせするもので、ホーム下への転落事故の防止に効果があります。

ホーム点字ブロック内方線の法的な敷設基準は、駅の新設時や大規模改良時にのみ設置義務があり、既設ホームはその対象外となっていますが、当社ではより安心・安全な駅をめざし、全駅・全ホームに設置することにしました。



『SWEETS BOX JR京都駅店』がオープン

(株)京阪ザ・ストアは、テイクアウト形式のスイーツ専門店「SWEETS BOX(スイーツボックス)JR京都駅店」をJR京都駅八条口の商業エリア「アスティスクエア」にオープンしました。

「SWEETS BOX」は、有名ブランドや話題のショップが週替りで楽しめるスイーツ専門店です。週替りで店舗が入れ替わることから、通勤・通学などで頻りに駅をご利用のお客さまにも、飽きることなく様々な店舗の様々な商品をお楽しみいただけます。

今回の出店は、京阪電車駅構内で展開中の淀屋橋店、天満橋店、京橋店、守口店に続く5店舗目で、京都府内では初出店となります。



『大手町北東急ビル』を取得

3月30日(月)、「大手町北東急ビル」の土地建物を取得しました。これは、当社不動産賃貸事業の首都圏進出第1弾となります。

同ビルは、東京メトロ「大手町駅」から徒歩4分という東京都内でも屈指の好条件エリアに位置することはもちろん、一定の規模を確保していることや、設備仕様が優良で、築年数も浅いことなどから、当社不動産賃貸事業に長期にわたり安定的に貢献することが期待できます。さらに、6月中に名称を「京阪大手町ビル」と変更する予定で、首都圏における京阪グループの知名度、ブランド力の向上にもつなげていきます。



『ホテル京阪札幌』がオープン



(株)ホテル京阪は、「ホテル京阪札幌」を6月6日(土)にオープンしました。

同ホテルは、JR札幌駅西改札口から徒歩4分の場所に位置しており、京阪グループの宿泊特化型ホテルとしては近畿圏外初の出店となります。現在営業中の各店が、大阪地区、京都地区において、客室稼働率でエリアトップ(ホテル協会加盟ホテル)を常に争っている(株)ホテル京阪のノウハウを最大限に生かしながら、札幌の地においても、ビジネスや観光のお客さまにご満足いただけるホテルをめざします。

今後も、今秋開業予定の「ホテル京阪浅草」(東京都)をはじめ、主要政令都市の駅前立地を中心に多店舗化を進めます。

中型クルーズ船「megumi(めぐみ)」を建造

琵琶湖汽船(株)は中型クルーズ船「megumi(めぐみ)」を建造しました。同社にとって、新船は平成2年の「ビアンカ」以来、約20年ぶりで、新船の導入によって、同社が運用するクルーズ船は7隻体制となります。同船は環境学習、ウェディング、イベントなどお客さまのご利用に応じて船内レイアウトを変更できるほか、環境に優しい船として、バイオ燃料添加型対応ディーゼル機関の導入や、太陽光・風力発電ユニットなどを搭載しています。



『守口デイサービスセンター』をオープン

5月1日(金)、京阪ライフサポート(株)は、京阪電車・守口市駅近くに高齢者向け日帰り通所施設「守口デイサービスセンター」をオープンしました。

同施設は同社直営のデイサービスセンターの4店舗目で、高齢者の在宅生活における体力と気力の向上、健康づくりを目的に、充実した施設を導入するとともに様々なプログラムをご用意しています。

今後も「快適な生活環境を創造し社会に貢献する」という京阪グループの経営理念に沿って、沿線での介護事業の充実を図っていきます。

「守口デイサービスセンター」の概要は次のとおりです。

- ・所在地 大阪府守口市寺内町1-13-8
(京阪電車・守口市駅から徒歩約2分)
- ・営業時間 8:30~17:30(ただし、12月31日~1月3日は休み)
- ・事業内容 ①日帰り通所施設
②訪問介護事業所、居宅介護支援事業所



連結貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	138,034	流動負債	178,020
現金及び預金	29,159	支払手形及び買掛金	10,597
受取手形及び売掛金	22,504	短期借入金	93,506
販売土地建物	71,974	前受金	14,368
繰延税金資産	5,007	その他	59,548
その他	9,387	固定負債	262,749
固定資産	434,064	社債	40,903
有形固定資産	388,268	長期借入金	128,772
建物及び構築物	181,965	長期未払金	13,140
機械装置及び運搬具	15,517	退職給付引当金	14,669
土地	169,450	その他	65,263
建設仮勘定	15,469	負債合計	440,769
その他	5,866	(純資産の部)	
無形固定資産	7,330	株主資本	98,489
投資その他の資産	38,465	資本金	51,466
投資有価証券	29,686	資本剰余金	28,820
繰延税金資産	2,251	利益剰余金	19,268
その他	6,527	自己株式	△1,065
		評価・換算差額等	30,638
		その他有価証券評価差額金	5,010
		土地再評価差額金	25,628
		少数株主持分	2,200
		純資産合計	131,329
		負債純資産合計	572,098
資産合計	572,098		

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 340,186百万円

連結株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

項目	株主資本				評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計			
前期末残高	51,466	28,815	16,754	△937	96,098	12,653	23,562	36,216	1,972	134,287
当期変動額										
剰余金の配当			△2,817		△2,817					△2,817
当期純利益			7,401		7,401					7,401
土地再評価差額金取崩額			△2,070		△2,070					△2,070
自己株式の取得				△171	△171					△171
自己株式の処分				43	47					47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△7,643	2,065	△5,577	228	△5,348
当期変動額合計		4	2,513	△127	2,390	△7,643	2,065	△5,577	228	△2,958
当期末残高	51,466	28,820	19,268	△1,065	98,489	5,010	25,628	30,638	2,200	131,329

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

科目	金額
営業収益	260,766
営業費	246,078
営業利益	14,687
営業外収益	2,324
営業外費用	6,044
経常利益	10,967
特別利益	12,008
特別損失	11,262
税金等調整前当期純利益	11,714
法人税、住民税及び事業税	1,248
法人税等調整額	2,919
少数株主利益	144
当期純利益	7,401

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

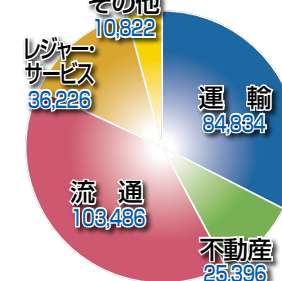
(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,342
現金及び現金同等物の増減額	9,584
現金及び現金同等物の期首残高	19,434
現金及び現金同等物の期末残高	29,018

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

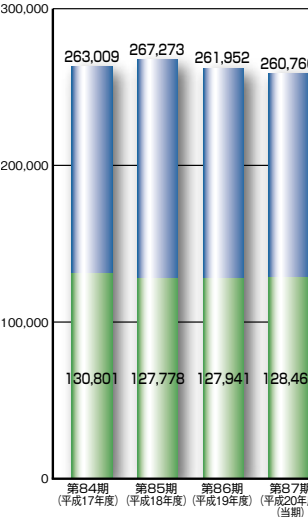
事業別連結営業収益

(単位: 百万円)



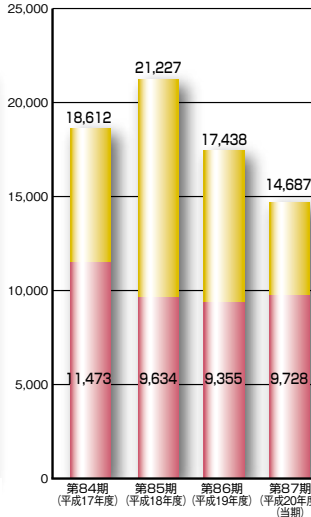
営業収益

(単位: 百万円)



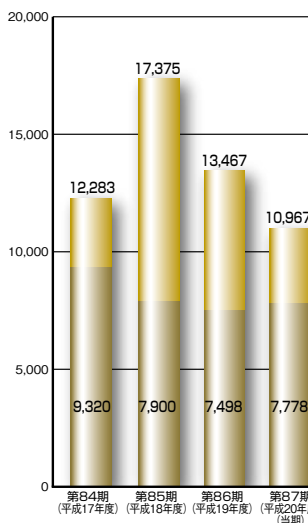
営業利益

(単位: 百万円)



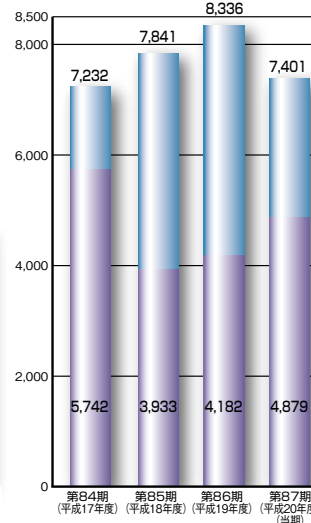
経常利益

(単位: 百万円)



当期純利益

(単位: 百万円)



京阪電気鉄道(個別)財務諸表 貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	73,598	流動負債	104,632
現金及び預金	11,343	短期借入金	50,659
未収金	6,856	未払金	16,792
販売土地建物	45,592	預り金	5,598
その他	9,806	その他	31,580
固定資産	380,524	固定負債	232,409
鉄道事業固定資産	196,355	社債	40,000
兼業固定資産	112,907	長期借入金	112,014
各事業関連固定資産	3,628	長期未払金	12,174
建設仮勘定	14,829	再評価に係る繰延税金負債	41,337
投資その他の資産	52,802	退職給付引当金	7,837
関係会社株式	30,467	預り保証金及び敷金	18,616
投資有価証券	17,679	その他	429
その他	4,654	負債合計	337,042
		(純資産の部)	
		株主資本	86,452
		資本金	51,466
		資本剰余金	28,820
		利益剰余金	7,231
		自己株式	△1,065
		評価・換算差額等	30,628
		その他有価証券評価差額金	4,999
		土地再評価差額金	25,628
		純資産合計	117,081
資産合計	454,123	負債純資産合計	454,123

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 266,024百万円

損益計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

科目	金額
営業収益	76,926
営業費	64,684
営業利益	12,241
営業外収益	2,191
営業外費用	4,870
経常利益	9,562
特別利益	11,089
特別損失	12,571
税引前当期純利益	8,080
法人税、住民税及び事業税	7
法人税等調整額	2,983
当期純利益	5,089

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益 9円04銭

総旅客数

(単位: 万人)

